

国連持続可能な開発会議(リオ+20) ジャパンデープログラム

<セミナー>

- 開催日時 平成 24 年 6 月 20 日(水)
第一部 11:15~12:30/第二部 12:45~13:35/第三部 13:35~14:30
- 場 所 ジャパンパビリオン 多目的スペース
- テ ー マ 東日本大震災からの復興・教訓～持続可能な開発の観点から
- 主 催 外務省/環境省
- 内 容 【第 1 部 11:15~12:30】(主催:環境省)
「復興を通じた持続可能な社会づくり ～日本の再生を世界とともに～」
・冒頭挨拶 細野豪志環境大臣からのメッセージ代読
梶原成元氏(環境省大臣官房審議官(地球環境局担当))
・講演①「GEA 国際会議 2011 成果物報告」
広中 和歌子氏(地球環境行動会議(GEA)事務総局長、元環境大臣)
・講演②「震災復興を通じた持続可能性 ―自然との共生―」
武内 和彦氏(国連大学副学長、東京大学サステイナビリティ学連携研究機構 機構長)
- 【第 2 部 12:45~13:35】(主催:外務省)
「東北の復興と持続可能な発展」
・講演①「福島復興発展への挑戦 ―持続可能な産業と社会の形成に向けて」
柿崎 隆夫氏(日本大学工学部 機械工学科 教授)
・講演②「宮城県名取市における海岸林再生の取り組み」
鈴木 英二氏(名取市海岸林再生の会 会長)
・講演③「UNEP International Experience-sharing Mission to Tohoku, Japan, on Managing Disaster Debris」
マシュー・ガブ氏(UNEP 国際環境技術センター(IETC)所長)
- 【第 3 部 13:35~14:30】
・講演 「The Revitalization for Japan -The Platinum Society-」
小宮山 宏氏(三菱総研理事長 東京大学総長顧問)
・ディスカッション/総括
<登壇者>
大木 浩氏(地球環境行動会議(GEA)相談役、元環境大臣)
荻野 博司氏(モデレーター:朝日新聞記者 地球環境プロジェクトリーダー)

<ジャパニブニング～TOHOKU FORWARD～>

- 開催日時 平成 24 年 6 月 20 日(水) 17:00～19:00
- 場 所 ジャパンパビリオン 多目的スペース
- 主 催 外務省
- 協 力 岩手県／宮城県／福島県／国際交流基金
ブラジル岩手県人会／ブラジル宮城県人会／ブラジル福島県人会
リオデジャネイロ州日伯文化体育連盟
リオデジャネイロ日本商工会議所／リオデジャネイロ日伯文化協会
リオデジャネイロ日系協会／リオデジャネイロ日本人学校
- 内 容
 - ・玄葉光一郎外務大臣による挨拶
 - ・応援メッセージステージ
地元「リオデジャネイロ日本人学校」と「日本語モデル校」の子供たちが書いた東北への応援メッセージの短冊を七夕飾りに吊るして、子供たちから東北三県の代表者に贈呈
 - ・鏡開き・乾杯
玄葉外務大臣と東北3県代表者による鏡開き、玄葉外務大臣による乾杯発声
 - ・歓談・東北郷土料理などの日本食・日本酒の試食・試飲
場内にて、ブラジル岩手県人会による餅つきパフォーマンス、岩手県盛岡市で開催された「東北六魂祭」のダイジェスト映像の映写
 - ・東北三県からのメッセージ
岩手県：復興計画や岩手の魅力についてのプレゼンテーション
(岩手県復興局企画課計画担当課長 小野博)
宮城県：県知事からのビデオメッセージ、及び復興へのビジョンと宮城県コーナー紹介
(宮城県経済商工観光部国際経済・交流課副参事 佐藤洋生)
福島県：復興に取り組む人々を伝える映像ビデオメッセージ
(登壇者：福島県にある日本大学工学部機械工学科教授 柿崎 隆夫)
 - ・歓談・東北郷土料理などの日本食・日本酒の試食・試飲
場内にて、復興PR映像や岩手県在住の中学生書道家「高橋卓也君」の手によって「TOHOKU FORWARD」の文字が力強く描かれる様子に東北六魂祭の映像が重なる映像の映写
 - ・和太鼓ステージ
サンパウロの和太鼓チーム「生(しょう)」による、東北三県の民謡を組み込んだプログラムの披露。
<相馬盆唄> 福島県相馬地方の民謡で盆踊唄のひとつ
<南部牛追い唄> 岩手県下閉伊及び和賀地方の民謡で牛追唄のひとつ
<斎太郎節> 宮城県の特に三陸地方に広く伝わる民謡で大漁唄のひとつ
<日向> 大海原の彼方から大きな太陽が次第に上がってくる日輪の様子を表現した、夢のある素晴らしい未来を迎える、幸せと歓喜の曲